

様式（評価機構フォーマット版）

# 2018年度 自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

2019年3月29日

トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校

# 目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価 .....	1	基準5 学生支援 .....	22
基準1 教育理念・目的・育成人材像 .....	2	5-16 就職等進路 .....	23
1-1 理念・目的・育成人材像 .....	3	5-17 中途退学への対応 .....	24
基準2 学校運営 .....	4	5-18 学生相談 .....	25
2-2 運営方針 .....	5	5-19 学生生活 .....	26
2-3 事業計画 .....	6	5-20 保護者との連携 .....	28
2-4 運営組織 .....	7	5-21 卒業生・社会人 .....	29
2-5 人事・給与制度 .....	8	基準6 教育環境 .....	30
2-6 意思決定システム .....	9	6-22 施設・設備等 .....	31
2-7 情報システム .....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等 .....	32
基準3 教育活動 .....	11	6-24 防災・安全管理 .....	33
3-8 目標の設定 .....	12	基準7 学生の募集と受入れ .....	34
3-9 教育方法・評価等 .....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか .....	35
3-10 成績評価・単位認定等 .....	14	7-26 入学選考 .....	36
3-11 資格・免許の取得の指導体制 .....	15	7-27 学納金 .....	37
3-12 教員・教員組織 .....	16	基準8 財務 .....	38
基準4 学修成果 .....	18	8-28 財務基盤 .....	39
4-13 就職率 .....	19	8-29 予算・収支計画 .....	40
4-14 資格・免許の取得率 .....	20	8-30 監査 .....	41
4-15 卒業生の社会的評価 .....	21	8-31 財務情報の公開 .....	42

<b>基準 9 法令等の遵守</b> .....	<b>43</b>
9-32 関係法令、設置基準等の遵守 .....	44
9-33 個人情報保護 .....	45
9-34 学校評価.....	46
9-35 教育情報の公開.....	47
<b>基準 10 社会貢献・地域貢献</b> .....	<b>48</b>
10-36 社会貢献・地域貢献 .....	49
10-37 ボランティア活動.....	50

# 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	2018年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>急速に進展する少子高齢化社会、また医療の高度化・専門化を背景にチーム医療の推進が重要となっている今日、それらを支える人材が多く求められている。トリニティカレッジでは、そのような社会状況をふまえ、医療福祉の原点である愛と奉仕の精神を基本に保健・医療・福祉の区分を超えた総合的視野を持つ人材の育成を目指している。学校名の“トリニティ”は本校で学ぶ「医療」「福祉」「保健」の三位一体を象徴している。</p> <p><b>【教育方針】</b> 学校を取り巻く社会環境は大きく変わり、技能・知識を重視する社会が到来し、グローバル化は一層大きなうねりとして進展している。まさに本校又個人の果たすべき役割が深刻に問い直されようとしている。文部科学省から職業実践専門課程の認定を受けていることを踏まえ、現状をしっかりと見据え、力強く将来に向かって羽ばたく人材の育成を目指す。</p> <p>1 基本的教育目標            (1) 医療・福祉・保健の現場で活かせる実践力の養成            (2) 将来への先見性と国際感覚の練磨            (3) 愛と奉仕と思いやりの精神の高揚</p> <p>2 実践的教育目標            (1) 授業に専念し、不明確な点を積極的に解決しよう。            (2) 実習現場の体験を生かし、技術向上に努めよう。            (3) 率先して挨拶を心掛け、マナーを身に付けよう。            (4) 内外の動向に関心を持ち、情報収集に努めよう。            (5) 積極的に資格取得にチャレンジしよう。</p>	<p>1. 学生が主体的に授業に参加するとともに、深い学びを実現する授業づくりを推進する。            ・授業アンケート 3.50 以上            ・学科が設定する試験の資格取得率 100%            ・学生アンケート「定期試験や検定合格に向けて、自主的に自己学習を行っている」 肯定的評価 100%</p> <p>2. 挨拶・自律・思いやりを行動の基盤におき、トリニティカレッジ生としての自覚を育み、個に応じた学習支援・生活支援の指導を充実させる。            ・退学率 5%以下            ・SHR 欠席率 1.00 人/日以下            ・学生アンケート「挨拶を積極的にしている」 肯定的評価 100%            ・学生アンケート「積極的に掃除をするなど校内の美化に努めている」 肯定的評価 100%</p>	<p>1. 授業アンケート結果は平均評価 3.75 (3.69) で、目標値を上回った。学科が設定する試験の資格取得率は、(基準3)、(基準4) に示す通り、100%を達成することができない学科があった。また、学生アンケートでは自主的に自己学習を行っている学生の肯定的評価は 85.6% (昨年 87.5%) で 100%を達成できなかった。</p> <p>2. 退学率は (基準 5) で示す通り、目標値 5%に対して 4.9%を達成することができた。しかし学年別でみると達成できていない学年がある。            SHR 欠席率は 0.96 人/日で目標を達成できた。            学生アンケートでは挨拶 90.1% (91.5%)、掃除 80.7% (85.1%) でともに目標値を下回った。</p> <p>( ) 内の数値は昨年度のもの</p>	<p>1. 資格取得率 100%を達成するため、現在行っている対策をさらにきめ細かくするとともに、学力不足の学生に対して短期的な目標を設定し成功体験を積み重ねることで、自ら勉強することの喜びを感じてもらう。</p> <p>2. 全体の退学率は減少しているが、3年生の退学率が高い。学力不足による退学が多いので、重点目標 1 への取り組みをさらに充実させる必要がある。            挨拶・掃除については、毎朝、校舎周りの掃除・挨拶を昨年度以上に行い、学生への浸透を図った。クラス担任による指導とあわせて朝の活動を引き続き継続していきたい。</p>

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、少子高齢化社会、医療の高度化・専門化という社会状況をふまえ、愛と奉仕の精神に加え、医療・福祉・保健の現場で活かせる実践力を兼ね備えた人材の育成に努めている。</p> <p>これらの教育理念・目的・育成人材像は明確に示されているが、理念は学校ホームページのみ、目的・育成人材像は学生便覧のみの記載になっている。学校ホームページ・学生便覧ともに教育理念・目的・育成人材像を明記し、教職員および学生への周知を徹底していく。</p> <p>また、学科ごとに実践力を重視した人材を養成するため、教育課程編成委員会を年 2 回開催し、現場のニーズに合ったカリキュラムの編成を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校が設置する 4 学科「介護福祉学科」、「医療秘書福祉学科」、「保育社会福祉学科」、「臨床工学科」はいずれも文部科学省により職業実践専門課程の認定を受けている。</li> <li>・年 2 回の教育課程編成委員会により社会のニーズを知ることで、現場で活かせる実践力を備えた人材の育成に努めている。</li> </ul>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	宅野 伸
--------	-----------------	-------	------

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	愛と奉仕の精神を基本とした理念・目的・育成人材像を明確に定めることは重要である。	学校ホームページ、学生便覧、学則に記されているが、学校ホームページには理念のみ、学生便覧には目的・育成人材像のみが記されている。	学校ホームページ・学生便覧ともに理念・目的・育成人材像を明記し、教職員および学生への周知を図る。	学校ホームページ 学生便覧 学則第1条
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	学科ごとに関連する業界等の人材ニーズを踏まえ、育成人材像の見直し、教育課程・授業計画の改善を行うことが重要である。	教育課程編成委員会を年2回実施する。各業界の専門家である委員の方から、最新の業界情報を知るとともに委員の意見を参考に教育課程の改善を行う。	特になし	教育課程編成委員会資料および議事録
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	学科ごとに実践力を重視した特色ある教育課程と授業内容を構成していく。	教育課程編成委員の意見を参考に教育課程・授業内容の改善を行う。	特になし	教育課程及び授業時間数 授業計画書（シラバス）
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	社会のニーズを踏まえ各学科のカリキュラムを柔軟に変更することは重要である。	教育課程編成委員の意見に加え、学外実習の実習指導者との意見交換により社会のニーズに対応するよう努めている。	特になし	教育課程編成委員会資料および議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像は明確に示されているが、理念は学校ホームページのみ、目的・育成人材像は学生便覧のみの記載になっているので改善する。また、学科ごとに実践力を重視した特色あるカリキュラムを編成しており、教育課程編成委員会での助言をふまえ、柔軟に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校が設置する4学科「介護福祉学科」、「医療秘書福祉学科」、「保育社会福祉学科」、「臨床工学科」はいずれも文部科学省により職業実践専門課程の認定を受けている。</li> <li>・年2回の教育課程編成委員会により社会のニーズを知ること、現場で活かせる実践力を備えた人材の育成に努めている。</li> </ul>

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念・教育目標等をふまえて学園理事会、評議員会において承認された事業計画、予算に基づき運営している。教職員に対しては、年度初め等に理事長より運営方針を伝達している。</p> <p>事業計画については、毎年、前年度の反省点・改善点をふまえて事業計画書を作成し、理事会・評議員会にて承認を得ている。</p> <p>運営組織については、寄付行為に基づき、理事会及び評議員会を設置し適正な運営を行っている。また、組織図及び校務分掌を作成し、役割分担を明確にしている。運営会議・学科長会議は必要に応じて随時開催している。</p> <p>人事・給与制度については、就業規則、給与規定を定め、学校運営に必要な人材を適切に配置するなど規定に基づいて運用している。</p> <p>意思決定のルールとして、案件により各部署・委員会で決定するもの、運営会議で議論し教職員会議で決定するもの、理事会・評議員会で決議するもの等に分けて対応しているが、意思決定の階層や権限が明確でないことが課題である。</p> <p>業務の効率化を図るため、教職員全員が専用の PC を利用している。また学内のネットワーク化、学籍管理システム・会計管理システムの導入により業務は効率化されている。費用対効果を考慮しながら更なる業務の効率化を図っていく。</p>	

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	学園理事会、評議員会において承認された事業計画、予算に基づき運営する。	毎年度、理事会等において理念に沿った事業計画、予算を決定している。また、年度初め等に理事長から運営方針について教職員に伝達している。	特になし	事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念・教育目標等をふまえ学園理事会、評議員会において承認された事業計画、予算に基づき運営している。教職員に対しては、年度初め等に理事長より運営方針を伝達している。	

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------



## 2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	学校の教育理念に基づき事業計画を定める。	前年度の反省点・改善点をふまえ事業計画書を作成し、理事会・評議員会にて承認を得ている。	特になし	事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度、前年度の反省点・改善点をふまえ事業計画書を作成し、理事会・評議員会にて承認を得ている。	

最終更新日付	2019年3月10日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	寄附行為に基づき、理事会及び評議委員会を設置し、適正な運営を行う。	理事会・評議委員会を定期的に開催し、議事録を作成している。	特になし	寄附行為 組織規程 理事会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	組織図及び校務分掌により各部門の役割分担や各種委員会を組織し、学校運営を行う。	組織図及び校務分掌を作成し、役割分担を明確にしている。運営会議・学科長会議は必要に応じて随時開催している。	特になし	組織規程 校務運用規定 校務分掌

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
寄附行為に基づき、理事会及び評議委員会を設置し適正な運営を行っている。また、組織図及び校務分掌を作成し、役割分担を明確にしている。運営会議・学科長会議は必要に応じて随時開催している。	

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	就業規則、給与規定を定め整備している。	学校運営に必要な人員を適切に配置し、給与規定に基づき支給している。	特になし	就業規則 給与規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就業規則、給与規定を定め、学校運営に必要な人材を適切に配置するなど規定に基づいて運用している。	

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	組織規程に基づき意思決定を行う。	案件により各部署・委員会で決定するもの、運営会議で議論し教職員会議で決定するもの、理事会・評議員会で決議するもの等に分けて対応している。	意思決定の階層、権限の明確化が課題である。	組織規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
案件により各部署・委員会で決定するもの、運営会議で議論し教職員会議で決定するもの、理事会・評議員会で決議するもの等に分けて対応しているが、意思決定の階層や権限が明確でないことが課題である。	

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率化を図っているか	学内のネットワーク構築により、情報の共有による業務の迅速化、効率化を図る。 教務および事務に関連するシステムの導入により業務の効率化を図る。	教職員一人一人に PC を配備している。 学内ネットワーク化により、情報の共有、業務の迅速化・効率化が図られている。 学籍管理システムにより学生情報、成績等を一元管理している。 会計管理システムの導入により業務を効率的に行っている。	より効率的に業務が行えるよう適宜検討する。	PC 配置図 ネットワーク構成図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業務の効率化を図るため、教職員全員が専用の PC を利用している。また学内のネットワーク化、学籍管理システム・会計管理システムの導入により業務は効率化されている。費用対効果を考慮しながら更なる業務の効率化を図っていく。	

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------



## 3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	業界のニーズをふまえ、現場で活かせる実践力を養成できるよう教育課程を編成する。	教育課程編成・実施方針の明文化がされていない。	学校および各学科の教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を至急作成する。	学則（別表1） 授業計画書（シラバス）
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科に応じた教育到達レベルを設定している。	介護福祉学科・臨床工学科は国家試験合格、保育社会福祉学科は卒業試験合格、医療秘書福祉学科はメディカルクラーク検定試験合格、診療情報管理士専攻科は診療情報管理士認定試験合格を教育到達レベルに設定している。	科目ごとの到達レベル設定はまだ行っていない。各科目についても到達レベル（到達目標）を設定し、シラバスに記載していく。	学則（別表1） 授業計画書（シラバス）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界のニーズをふまえ、現場で活かせる実践力を養成できるよう教育課程を編成しているが、教育課程編成・実施方針は文書化されていない。学校および各学科のカリキュラムポリシーを至急作成する。また、各学科において教育到達レベルを設定しているが、科目ごとの設定はできていない。こちらにも至急設定し、シラバスに記載していく。	介護福祉学科は、国家試験に合格することで資格を得ることができるが、経過措置として不合格の場合でも、卒業後5年間は介護福祉士となることができる。この間に国家試験に合格するか、卒業後5年間続けて介護等の業務に従事することで介護福祉士の登録が継続できる。（2022年度末まで） 臨床工学科は、国家試験に合格することで臨床工学技士の資格を取得できる。保育社会福祉学科は、卒業と同時に保育士、幼稚園教諭2種の資格を取得できる。医療秘書福祉学科は、検定試験に合格することでメディカルクラークの資格を取得できる。診療情報管理士専攻科は、認定試験に合格することで診療情報管理士の資格を取得できる。

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	指定規則に則り、かつ現場で活かせる実践力を養成するため、業界等と連携を図りながら業界のニーズに合った教育課程となるよう編成する。	教育課程編成委員の意見や業界のニーズを考慮しながら現場で活かせる実践力を養成できるカリキュラムを編成している。	特になし	学則（別表1） 授業計画書（シラバス）
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	学科ごとに関連する業界の専門家と意見交換を行い、教育課程に反映させる。	教育課程編成委員会において、各業界の専門家である委員から、最新の業界情報を知るとともに委員の意見を参考に教育課程の改善を行っている。	特になし	教育課程編成委員会設置規程 教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	職業人として必要な知識・技術に加え、社会人としての基礎的能力を養うことは重要である。	実習前オリエンテーションや学外実習に加え、就職実務やマナー講座、コミュニケーション能力・国語力を高める授業を取り入れている。	社会のニーズ、学生の状況にあわせて教育内容を改善することが必要である。	該当科目の授業計画書（シラバス）
3-9-4 授業評価を実施しているか	学生による授業アンケートを実施し、授業内容の向上を図る。	年2回、学生による授業アンケートを実施し、その結果を教員にフィードバックしている。	特になし	授業アンケート様式 授業アンケート結果

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
指定規則に則り、かつ現場で活かせる実践力を養成するため、教育課程編成委員等の外部の意見を取り入れながら教育課程の編成を行っている。キャリア教育については、学外実習での教育に加え、社会人として必要なマナー、コミュニケーションや国語力などの向上に力を入れている。また、学生による授業アンケートを通して授業内容の改善を行っている。	介護福祉学科の教育課程は、介護福祉士養成施設指定規則に則る。 臨床工学科の教育課程は、臨床工学技士養成所指定規則に則る。 保育社会福祉学科の教育課程は、近畿大学九州短期大学の教育課程（近畿大学九州短期大学との併修のため）に則る。 2013年度に教育課程編成委員会を設置した。

最終更新日付

2019年3月13日

記載責任者

宅野 伸



## 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・卒業認定基準は、学則・学生便覧に定め、適切に運用する。	成績評価は、学科試験・実習態度・学習態度等で評価する。100点満点中60点以上を及第としている。進級・卒業判定会議にて進級および卒業の判定をしている。	科目ごとの評価方法・基準が文書化されていない。各科目の評価方法・基準を授業計画書に記載する。	学則 学生便覧 卒業判定会議議事録 進級判定会議議事録
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	実習報告会を通して学生の実習成果の把握、次年度以降の実習内容の改善を行う。	全学科において実習終了後、実習報告会を実施している。学生の実習発表および実習報告会のしおり等で実習の成果を確認している。	特になし	実習報告会のしおり

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・卒業認定基準は学則・学生便覧に定め明確化している。進級・卒業判定会議を行い学校長の承認を得た後、進級および卒業を決定している。ただし、科目ごとの評価方法・基準が文書化されていないため至急作成していく。また、実習報告会を通して実習の成果を把握するとともに実習内容の確認を行い、必要があれば改善している。	成績評価は、年2回、学生・保護者に郵便で通知している。成績の結果を踏まえて、保護者に対して学生への激励・指導をお願いしている。

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	指定規則に則った教育課程を編成する。	指定規則で規定された教育課程に加え、資格試験対策用の授業を授業計画書で明確に示している。	特になし	学則（別表1） 授業計画書（シラバス）
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	指定規則に則った教育課程に基づいて授業を実施する。必要に応じて補習を実施する。	教育課程で定められた授業科目による指導に加え、定期的には国家試験模擬試験を実施している。成績不振者に対しては、個別面談、放課後の居残り学習や補習等でフォローするようにしている。	臨床工学科・介護福祉学科において合格率 100%を達成することができていない。成績不振者に対して、今まで以上のきめ細かなサポートが必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科とも目標となる資格取得のための教育課程が編成され、学則・授業計画書で明確に示されている。教育課程で定められた科目による指導以外にも、定期的に模擬試験を実施し、成績不振者に対しては個別面談、居残り学習、補習等でフォローをしている。資格取得率 100%に達しない資格については、更なるきめ細かなサポートが必要である。	臨床工学科では、不合格で卒業した学生に対して、聴講制度・図書室の利用・模擬試験の受験等を促し卒後も指導を続けている。

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	指定規則または対象学科の学生を指導するにふさわしい資格・技能を有する教員を確保する。	介護福祉学科および臨床工学科は、指定規則で定められた教員要件を備えた教員を配置している。保育社会福祉学科および医療秘書福祉学科は、その学科の学生を指導するにふさわしい資格・技能を有する教員を配置している。また、すべての学科において教育課程の1割以上を実務経験のある教員が指導にあっている。	特になし	履歴書
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教職員研修規程を定め、教職員の能力・資質向上に取り組む。	広専各主催の教職員研修会や専門分野における実務に関する研修等に積極的に参加し、教職員の能力・資質向上に努めている。また、情報共有のため、研修報告書および資料をデータ化し教職員が自由に閲覧できる状態にしている。	教職員が参加を希望する学外研修があるが、予算の関係上、すべての研修には参加できていない。	教職員研修規程 研修報告書
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	組織規程および校務運用規定において教員の組織体制を定め、教務と事務が円滑に運営するよう組織する。	定められた組織体制に従い、学校長が年度初めに校務分掌にて各教職員の役割を決定している。各係の教職員が責任を持って業務にあたることで学校全体が円滑に運営されている。	特になし	学則 組織規程 校務運用規定 校務分掌

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>各学科において教員資格・要件を備えた教員を配置している。また学外研修を通して、教員としての資質向上と各分野における専門的知識の向上に取り組んでいる。しかしながら、予算の制約上、希望する研修に参加できないこともある。</p> <p>教員の組織体制は整備されており、年度当初に学校長が校務分掌を決定している。</p>	<p>本校の校務は事務部と教務部の2つがあり、教務部には学則により設置する4つの学科がある。校務の円滑な遂行のため、係会として、教務係・総務係・学生指導係・システム管理係がある。</p>

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）																											
<p>就職については、就職希望者の就職率 100%を目標としている。学生の就職活動状況を事前事後報告させて状況を把握している。また、クラスごとの内定率や内定先はクラス運営報告書によって確認することができる。</p> <p>資格取得率の向上は重点目標の一つである。各学科が目標とする資格の取得率 100%を達成できるよう教育指導体制を整えている。成績不振者に対しては、個別面談、放課後の居残り学習や補習等でフォローしているが、資格取得率 100%を達成することができていない資格がある。今まで以上のきめ細かなサポートをするとともに、短期的な目標を設定し成功体験を積ませることで、自ら勉強することの喜びを感じてもらおうよう導いていく。</p> <p>また、教育の成果を確認するため、卒業生の状況や社会的評価を把握することは重要である。学校に訪れる卒業生や同窓会・学会・コンテスト等に参加する卒業生から情報を収集し把握に努めているが、本格的な追跡調査は行っていない。今後、同窓会と連携することで追跡調査の実施を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率（2019年3月28日現在）は次のとおりである。 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr><td>介護福祉学科</td><td style="text-align: right;">89%（98%）</td></tr> <tr><td>医療秘書福祉学科</td><td style="text-align: right;">100%（92%）</td></tr> <tr><td>保育社会福祉学科</td><td style="text-align: right;">100%（100%）</td></tr> <tr><td>臨床工学科</td><td style="text-align: right;">87%（63%）</td></tr> <tr><td>診療情報管理士専攻科</td><td style="text-align: right;">100%（100%）</td></tr> <tr><td style="padding-left: 20px;">（全体）</td><td style="text-align: right;">94%（93%）</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">（ ）内の数値は昨年度のもの</p> </li>   <li>・各学科が目標とする資格の取得率は次のとおりである。 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr><td>介護福祉学科</td><td style="text-align: right;">100%</td><td style="text-align: right;">合格率は 82.1%（74.5%）</td></tr> <tr><td>臨床工学科</td><td style="text-align: right;">83.3%</td><td style="text-align: right;">（87.0%）</td></tr> <tr><td>保育社会福祉学科</td><td style="text-align: right;">100%</td><td style="text-align: right;">（100%）</td></tr> <tr><td>医療秘書福祉学科</td><td style="text-align: right;">100%</td><td style="text-align: right;">（100%）</td></tr> <tr><td>診療情報管理士専攻科</td><td style="text-align: right;">28.6%</td><td style="text-align: right;">（100%）</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">（ ）内の数値は昨年度のもの</p> </li> </ul>	介護福祉学科	89%（98%）	医療秘書福祉学科	100%（92%）	保育社会福祉学科	100%（100%）	臨床工学科	87%（63%）	診療情報管理士専攻科	100%（100%）	（全体）	94%（93%）	介護福祉学科	100%	合格率は 82.1%（74.5%）	臨床工学科	83.3%	（87.0%）	保育社会福祉学科	100%	（100%）	医療秘書福祉学科	100%	（100%）	診療情報管理士専攻科	28.6%	（100%）
介護福祉学科	89%（98%）																											
医療秘書福祉学科	100%（92%）																											
保育社会福祉学科	100%（100%）																											
臨床工学科	87%（63%）																											
診療情報管理士専攻科	100%（100%）																											
（全体）	94%（93%）																											
介護福祉学科	100%	合格率は 82.1%（74.5%）																										
臨床工学科	83.3%	（87.0%）																										
保育社会福祉学科	100%	（100%）																										
医療秘書福祉学科	100%	（100%）																										
診療情報管理士専攻科	28.6%	（100%）																										

最終更新日付	2019年3月28日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職希望者の就職率 100%を目標とする。	就職活動の事前事後報告をさせて状況を把握している。また、クラスごとの内定率や内定先はクラス運営報告書によって確認することができる。	例年に比べ就職活動の動き始めが遅かった。来年度は早めに動くよう学生に指導する。	就職活動報告書 クラス運営報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職希望者の就職率 100%を目標としている。学生の就職状況を事前事後報告させて状況を把握している。また、クラスごとの内定率や内定先はクラス運営報告書によって確認することができる。	就職活動した学生には、就職活動状況の把握・後輩への情報提供の目的で、就職活動報告書の提出を義務付けている。

最終更新日付	2019年3月28日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	資格取得率 100%を目標とした教育指導体制を整える。	成績不振者に対しては、個別面談、放課後の居残り学習や補習等でフォローしている。	資格取得率 100%を達成することができていない資格がある。成績不振者に対して、今まで以上のきめ細かなサポートが必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得率 100%を目標とした教育指導体制を整え実施している。成績不振者に対しては、個別面談、放課後の居残り学習や補習等でフォローしているが、資格取得率 100%を達成することができていない資格がある。成績不振者に対して、今まで以上のきめ細かなサポートするとともに、短期的な目標を設定し成功体験を積ませることで、自ら勉強することの喜びを感じてもらおうよう導いていく。	それぞれの学科で目標とする資格は次のとおりである。 介護福祉学科・・・介護福祉士 臨床工学科・・・臨床工学技士 保育社会福祉学科・・・保育士、幼稚園教諭 2 種 医療秘書福祉学科・・・メディカルクラーク検定試験合格 診療情報管理士専攻科・・・診療情報管理士

最終更新日付	2019年3月28日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	教育の成果を確認するため、同窓会と連携することで卒業生の状況や社会的評価を把握することは重要である。	学校に訪れる卒業生や同窓会に参加する卒業生から情報を収集し把握に努めている。また、学会やコンテスト等に参加する卒業生の状況は把握できている。	卒業生の追跡調査を本格的に行ってはいない。同窓会総会が行われる機会を利用するなどして卒業生の状況をしっかりと把握・分析し、教育活動の改善につなげたい。	同窓会名簿

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育の成果を確認するため、同窓会と連携することで卒業生の状況や社会的評価を把握することは重要である。学校に訪れる卒業生や同窓会・学会・コンテスト等に参加する卒業生から情報を収集し把握に努めているが、本格的な追跡調査は行ってない。今後、追跡調査の実施を検討する。	前回の同窓会は2017年3月の行い、319名の卒業生の参加があった。

最終更新日付	2019年3月28日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------



## 基準 5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）																									
<p>就職活動支援として、クラス担任と就職相談室が連携して、学生に対し必要な情報を提供し、手厚い進路指導を行っている。また、就職実務等の授業において、学生の就職へのモチベーションを高めるとともに面接指導・試験対策を行っている。</p> <p>退学率の減少は重点目標の一つである。問題のある学生に対しては、クラス担任・学科長が適宜個人面談を行うとともに保護者と密な連携をとっている。電話連絡・4 者面談を通じて保護者に協力を要請し、学生それぞれの問題が解決できるよう努めている。</p> <p>学生に対する修学支援として学生相談体制を整備している。クラス担任が定期的に個人面談を実施するとともに、学生の様子に変化が見られれば随時面談を行っている。留学生に対しては、クラス担任・学科長による個別相談、日本語教員による日本語教育・相談を行い、少しでも不安が解消できるよう取り組んでいる。</p> <p>経済的支援として、学納金の延納・分納および各種奨学金制度の利用を促す。生活環境支援では、学校が提携する業者の学生マンションを紹介し、遠隔地からくる学生の快適な生活環境を確保している。課外活動支援では、今年度から親睦を目的として学生と教員が調理し夕食をとる月一食堂を開催している。</p> <p>卒業生への支援としては、同窓会総会に出席する卒業生や個別に学校訪問してくれる卒業生に相談・支援を行っている。同窓会との関係をこれまで以上に密接にし、卒業生との連携を図っていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退学率の目標値と結果は次のとおりである。  <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">(目標値)</th> <th style="text-align: center;">→</th> <th style="text-align: center;">(実績値)</th> <th style="text-align: center;">(昨年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td style="text-align: center;">5%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4.9%</td> <td style="text-align: center;">( 6.9%)</td> </tr> <tr> <td>1 年</td> <td style="text-align: center;">6%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4.4%</td> <td style="text-align: center;">(10.9%)</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td style="text-align: center;">4%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">2.2%</td> <td style="text-align: center;">( 3.9%)</td> </tr> <tr> <td>3 年</td> <td style="text-align: center;">4%</td> <td></td> <td style="text-align: center;">11.3%</td> <td style="text-align: center;">( 6.0%)</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>3年で退学率が高い理由は、臨床工学科の卒業試験に不合格（原級留置）となり退学を選択する学生が多いためである。                      （退学理由）学業不振、自己の都合、家庭の事情                      体調不良、学校生活不適應</li> <li>・今年度、介護福祉学科において 2 名の留学生を受け入れた。来年度も新たに 8 名の留学生を受け入れる予定である。</li> <li>・木村学園奨学金は本校独自の奨学金制度である。（月 35,000 円貸与）</li> </ul>		(目標値)	→	(実績値)	(昨年度)	全体	5%		4.9%	( 6.9%)	1 年	6%		4.4%	(10.9%)	2 年	4%		2.2%	( 3.9%)	3 年	4%		11.3%	( 6.0%)
	(目標値)	→	(実績値)	(昨年度)																						
全体	5%		4.9%	( 6.9%)																						
1 年	6%		4.4%	(10.9%)																						
2 年	4%		2.2%	( 3.9%)																						
3 年	4%		11.3%	( 6.0%)																						

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	宅野 伸
--------	-----------------	-------	------

## 5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	クラス担任と就職相談室が連携して、学生に対し求人票等必要な情報を提供し、手厚い進路指導を行う。	就職実務等の授業において、学生の就職へのモチベーションを高めるとともに面接指導・試験対策を行っている。また、就職活動状況を管理共有し、個々の学生に対して的確なアドバイスをするなどきめ細かな支援を行っている。	決めることのできない学生に対して、どうフォローしていくかという課題がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
クラス担任と就職相談室が連携して、学生に対し必要な情報を提供し、手厚い進路指導を行っている。さらに、就職実務等の授業において、学生の就職へのモチベーションを高めるとともに面接指導・試験対策を行っている。また、就職活動状況を管理共有し、個々の学生に対して的確なアドバイスをするなどきめ細かな支援を行っている。	

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学率の目標値を次のとおりとする。 全体 5%以下 1年 6%以下 2年 4%以下 3年 4%以下	クラス担任、学科長を中心に問題のある学生に対して、面談・保護者との密な連携等を行い、学生それぞれの問題が解決できるよう努めている。今年度の退学率は次のとおりである。 全体 4.9% 1年 4.4% 2年 2.2% 3年 11.3%	3年生の目標値である4%以下を達成できていない。特に臨床工学科3年生の退学率が高くなっている。様々な事情をもった学生がいるので、学生との面談や保護者との連携が今まで以上に重要である。	退学率の推移表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率の目標を達成するため、クラス担任、学科長を中心に問題のある学生に対して、面談・保護者との密な連携等により、学生それぞれの問題が解決できるよう努めている。	3年で退学率が高い理由は、臨床工学科の卒業試験に不合格（原級留置）となり退学を選択する学生が多いためである。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	クラス担任制をとることで、学生一人一人に対応できる体制をとる。	クラス担任が定期的に個人面談を実施している。朝の SHR 時に学生の様子を観察し、変化が見られれば随時面談を行っている。	専任のカウンセラーは配置していない。教職員のカウンセリングスキルの向上が課題である。	クラス運営報告書
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生に対する相談体制を整備し、留学生が不安なく学業に専念する環境を整える。	クラス担任・学科長を中心に個別相談で対応している。また定期的に日本語教員による日本語教育や相談できる時間を設け、留学生の不安を和らげている。	今後予想される留学生の増加に対して学校全体で取り組んでいく必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>クラス担任が定期的に個人面談を実施している。朝の SHR 時に学生の様子を観察し、変化が見られれば随時面談を行っている。</p> <p>留学生に対しては、クラス担任・学科長による個別相談、日本語教員による日本語教育・相談を行い、少しでも不安が解消できるよう取り組んでいる。</p>	<p>今年度、介護福祉学科において 2 名の留学生を受け入れた。来年度も新たに 8 名の留学生を受け入れる予定である。</p>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	宅野 伸
--------	-----------------	-------	------

## 5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的な理由で学業をあきらめることがないよう支援体制を整える。	学納金の納入は、延納や分納など様々な納入方法で対応している。また、奨学金制度として木村学園奨学金制度、日本学生支援機構、生命保険協会奨学生制度、教育訓練給付制度等があり、その都度説明会を実施している。	特になし	学生便覧 募集要項
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校安全保健法に基づき健康診断を毎年実施する。	4月に全学生を対象とした健康診断を実施している。また保健室を設置し、看護師の資格を持った常勤教員が体調不良の学生に対応している。	特になし	学生便覧
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	学生寮を希望する学生に対して、学校が提携している業者の学生マンションを紹介する。	学生寮は設置していないが、学校が提携する業者の学生マンションを紹介している。	特になし	学生マンション案内パンフレット
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	課外活動を通して、学科を超えて学生間の親睦を深めていくことは重要である。	体育館や運動場の確保が困難なため課外活動はしていないが、今年度から親睦を目的として学生と教員が調理シ夕食をとる月一食堂を開催している。	今後、学生の親睦を深める取り組みを増やしていく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>経済的な問題を抱えている学生に対しては、学納金の延納・分納および各種奨学金制度の利用を促す。</p> <p>学生の健康管理のため毎年4月に健康診断を実施している。</p> <p>学生寮は設置していないが、学校が提携する業者の学生マンションを紹介している。体育館や運動場の確保が困難なため課外活動はしていないが、今年度から親睦を目的として学生と教員が調理し夕食をとる月一食堂を開催している。</p>	<p>木村学園奨学金は本校独自の奨学金制度である。</p>

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	学校運営を円滑に行うためにも保護者の協力は不可欠である。特に、学習支援・生活指導の面で保護者と綿密に連携をとることは重要である。	学力不振や生活リズムの改善がみられない学生の保護者に対して電話で現状報告を行い、家庭での協力を要請している。状況に応じて、来校してもらい4者面談（学生、保護者、担任、学科長）を実施している。	年2回、個人成績表を各家庭に送付しているが、問題のない学生の保護者に対して、これ以外の連絡はしていない。	クラス運営報告書 個人成績表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習支援・生活指導の面で努力が必要な学生の保護者とは綿密に連携をとっている。電話連絡・4者面談を通じて保護者の協力を要請している。問題のない学生の保護者との連携体制はそれほどとれていないのが現在の課題である。	入学式後、保護者向けオリエンテーションを実施し、学校の教育方針や卒業までのスケジュール、教員紹介などを行っている。

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会を通じて卒業生への支援体制に取り組む。	同窓会総会を利用して卒業生の相談に応じている。個別に学校に相談に来る卒業生に対しても同様に対応している。	同窓会をこれまで以上に活用し、卒業生との連携・支援体制を強めていきたい。	同窓会会則
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	卒業生支援の一環として卒業後教育は大切である。	介護福祉学科において、卒業生を含む介護福祉士を対象にした勉強会を実施している。	特になし	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人経験者が修学しやすい環境を整備することは大切である。	社会人入学生に対して、社会人奨学生入試を実施している。社会人経験者等に対しては、既修得科目を認定している。また、委託訓練業務として介護福祉学科に委託訓練生の受け入れを行っている。	特になし	募集要項 学則第 26 条

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会総会に出席する卒業生や個別に学校訪問してくれる卒業生に対しては、相談・支援を行っている。同窓会との関係をこれまで以上に密接にし、卒業生との連携を図っていきたい。 また、社会人が入学しやすいような制度・教育環境の整備に努めていく。	2009 年度より委託訓練生の受け入れを行っている。

最終更新日付	2019 年 3 月 13 日	記載責任者	宅野 伸
--------	-----------------	-------	------



## 基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備・教育用具等は関係法令等の基準を満たすよう整備している。経年劣化している設備は随時更新しているが、開校 22 年が経過し、老朽化が目立っている。中長期的な更新・補修計画を作成し実施していく必要がある。</p> <p>学外実習は、実践的な職業教育を行う専門学校にとって、最も重要な教育課程の一つである。すべての学科で実施要領を作成し適切に運用している。また、実習連絡協議会や実習先への巡回などで実習指導者との意見交換を行い、学生にとって充実した実習となるよう心掛けている。</p> <p>学生にとって安心安全に教育できる環境は重要である。様々な災害に対する備えとして、本校では自衛消防組織を編成し、火災・防災避難訓練を定期的実施している。今後、避難訓練のシチュエーションを変更し、どのような状況でも確実・安全に避難できるよう訓練を積んでいく。また、実習機器の安全な使用方法や盗難防止のための指導を徹底するなど、学内での安全管理に努力している。万一に備え、災害傷害保険の加入や盗難時対応マニュアルの整備をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の施設・設備の改修として トイレの改修（2017 年度） 照明器具を蛍光灯から LED に変更（2018 年度） を実施した。</li> <li>・今年度初めて、保育社会福祉学科の学生 3 名と教員がベトナムでの海外研修を行った。ベトナムの保育施設で日本式の保育の紹介・情報交換等を行った。</li> <li>・事件・自己が発生した場合は、事件・事故等対応報告書を作成し、全教職員で情報共有するとともに、学生に対して注意喚起を行っている。</li> </ul>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	宅野 伸
--------	-----------------	-------	------

## 6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設・設備・教育用具等は関係法令等の基準を満たすよう整備する。	教育上必要な施設・設備は整っている。経年劣化している施設・設備については随時更新している。	開校 22 年を経過し様々な施設・設備が老朽化している。定期点検を徹底するとともに、中長期的な更新・補修計画を作成し実施する必要がある。	固定資産台帳

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備・教育用具等は関係法令等の基準を満たすよう整備している。経年劣化している施設・設備は随時更新しているが、開校 22 年が経過し、老朽化が目立っている。中長期的な更新・補修計画を作成し実施していく必要がある。	2017 年度、トイレの改修を実施した。 2018 年度、照明器具を蛍光灯から LED に変更した。

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	-----------------	-------	-------

## 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	実践的な職業教育を行う専門学校にとって、学外実習は最も重要な教育課程の一つである。	学外実習においては、すべての学科で実施要領を作成し適切に運用している。また、実習連絡協議会や実習先への巡回などで実習指導者との意見交換を行い、学生にとって充実した実習となるよう心掛けている。	特になし	学則（別表1） 実習指導要領

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実践的な職業教育を行う専門学校にとって、学外実習は最も重要な教育課程の一つである。すべての学科で実施要領を作成し適切に運用している。また、実習連絡協議会や実習先への巡回などで実習指導者との意見交換を行い、学生にとって充実した実習となるよう心掛けている。	今年度初めて、保育社会福祉学科の学生 3 名と教員が、日本式の保育の紹介・情報交換を目的として、ベトナムで海外研修を実施した。

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	自衛消防組織を編成し、火災・防災避難訓練を定期的実施することは重要である。	教職員および学生による通報訓練・避難訓練を実施した。消防署の指導の下、教職員による消火訓練を実施した。あわせて委託業者の指導のもの避難器具の使用訓練を実施した。	様々なシチュエーションを考え、避難訓練を実施する。	消防計画 防災マニュアル
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学内における安全管理体制の整備は、学生及び教職員の安全を守るうえで重要である。	学生に対して、様々な実習機器の安全な使用方法を指導するとともに、不慮の事故等に対応するため、全学生が災害傷害保険に加入している。また、盗難防止のため貴重品の管理・教室の施錠等、徹底して指導している。万一、盗難が発生した場合は、盗難時対応マニュアルに従って迅速に対応している。	特になし	盗難時対応マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自衛消防組織を編成し、火災・防災避難訓練を定期的実施している。今後、様々なシチュエーションを考えて、どのような状況でも確実・安全に避難できるよう訓練を積んでいく。 学生に対して様々な実習機器の安全な使用方法や盗難防止のための指導を徹底している。万一に備え、災害傷害保険の加入や盗難時対応マニュアルの整備をしている。	事故・事件が発生した場合は、事件・事故等対応報告書を作成し、全教職員で情報共有している。

最終更新日付	2019年3月13日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集については、学生課募集担当を中心に高校生にとって魅力的な「読み物」としての学校案内の製作に力を入れている。また、直接高校生と接触できる高校内での進学説明会に積極的に参加している。学校案内やオープンキャンパスは、在校生や卒業生の協力を得て在学中の様子や卒業後の職業理解につながりイメージし易いことを意識した作りになっている。</p> <p>入学選考については入試委員会により評価基準が明確に定められており、合否判定会議によって適正かつ公正に選考している。入試選考に関する結果は、各部署で共有し、授業改善や学生指導に役立てている。</p> <p>学納金については、入学金・授業料や在学中に必要な教材等の費用について詳細に提示し学生や保護者に対して情報提供している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集に関しては、ホームページや学校案内で詳細な情報を提供している。オープンキャンパスや進路説明会ではさらに詳細な情報を提供できるよう工夫し、各種奨学金制度等個別にマネープラン相談にも対応している。</li> </ul>

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

宍戸 淳治

## 7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	広報担当者を中心に本校の教育内容や募集要項など必要な情報を高等学校等へ提供する。	学校案内を提供したり高等学校内での進路説明会に積極的に参加し、情報提供に取り組んでいる。	高校への有効な情報提供内容や方法について検討していく必要がある。	学校案内 募集要項 ホームページ
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	高等学校の学事日程を勘案して年間の広報イベント、スケジュールを作成し、効果的な学生募集活動を行う。	オープンキャンパス、学校見学会、高等学校での進路説明会等に積極的に実施・参加している。	今後はSNS等を利用した広報活動に注力していきたい。	学校案内 募集要項 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高校ガイダンス等で職業理解として仕事の内容については説明できていても、仕事のやりがいや生きがいのある仕事につくことの意味について伝えきれしていない。福祉や医療の職種の認知を高めるために様々な取り組みや新たな工夫が必要である。	少子化や就職しやすい環境となる中、入学生の獲得競争が更に激化していくと予想される。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準は募集要項で明確にし、適正かつ公平な合否判定を行う。	合否判定会議において、選考基準により公正に選考している。	今後も社会のニーズに応じて入試内容や選考基準の改訂を検討していく。	募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する結果を把握し、各部署で入学生の学力に合わせた対応をする。	学力判断資料に基づき、授業内容の改善や学生指導に活用している。また、入学前課題を行うことにより、入学後スムーズに学習できるよう対策している。	学力レベルに応じた個別の支援が必要となる。	入試判定会議用資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考については AO（総合型選抜）入試を導入し、学力だけではなくその業界に対して貢献していきたいという夢や目標を持つ人を積極的に入学につなげていきたい。	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	教育活動の中で発生する経費内容を把握・確認し、適切な学納金を算出する。	経費内容は適正に把握しており、学生への負担は妥当な金額となっている。	社会情勢の変化により学納金の金額について、適宜対応していく。	マネープラン資料
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	入学までに辞退した者には入学時納入金（入学後の前期授業料対応分）については募集要項に記載の通り返還する。	入学金については、返還しない。		募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生や保護者の経済的負担軽減策として特待生試験制度を設けることにより、特に入学前の資金調達負担の軽減につながっている。各種奨学金を受ける学生が多いことから学費の分納・延納ができる制度を設けている。	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------



## 基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>少子化による 18 歳人口の減少、好景気による就職市場の活況、大学全入など専門学校の新規募集の厳しさによる収入減、施設設備更新経費の支出増など専門学校の外部環境が悪化する中、財務基盤が安定しているとは言いがたい状況である。</p> <p>中長期的には留学生の獲得による入学者増（収入増）、更なる経費の削減（支出減）や学科統廃合についても検討していかなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務基盤を安定させるためには中長期的に安定して入学者数を確保していかなければならない。2018 年度から留学生の受け入れを開始したが、今後更なる留学生受入体制を構築することによって収入を安定させていく必要がある。</li> <li>・支出に関しては無駄な経費を省くため支出面でのチェックを徹底し、コスト管理をすすめていく。</li> </ul>

<b>最終更新日付</b>	2019 年 3 月 29 日	<b>記載責任者</b>	宍戸 淳治
---------------	-----------------	--------------	-------

## 8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的な財務基盤の安定を第一に考えて運営する。	新校舎建設により資金が大幅に減少した。財務基盤の安定のため経費削減に一層努力しなければならない。	安定的な新入生確保と更なる経費削減に努め財務基盤の安定を図りたい。	
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	主要な財務数値に関する財務分析を行いその推移を把握する。	主要な財務数値を把握し、財務分析を行っている。	より詳細な財務分析を行う必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期にわたる財政基盤の安定を図るため、留学生獲得や学科統廃合に着手し、経費削減に取り組むことにより収益の改善を目指していく。	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	事業計画と教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定する。	事業計画に基づき予算を策定している。	中期計画の策定と見直しについて体制を整えていく必要がある。	消費収支予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算及び事業計画に基づき適切に執行する。	予算に基づき適正に執行している。	予算管理を徹底していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経営安定のために経費の内容について常に見直しを行い、効率化を図っていく。	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	決算時に監事が会計監査を適切に実施する。	監査法人の指導の下、監事による監査を行っている。	特になし	決算報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監査については、毎年適正に実施している。	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に公開する。	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、ホームページにて公開している	情報公開の範囲について検討していく。	学校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書についてホームページにて公開している。	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門学校の教育に関わる各種法令及び設置基準を遵守し、適切な運営を行っている。</p> <p>個人情報保護については規程を定め学校全体として取り組んでいる。情報漏えいが起きないように書類の管理、パソコン上でのセキュリティ管理に万全を期している。学校内の個人情報が保護されているか、常に点検する必要がある。</p> <p>私立専門学校等評価研究機構の評価基準に従って、自己評価・学校関係者評価を実施し、ホームページにて公表している。自己評価に関しては、一部の教職員による実施に留まっており、今後は多くの教職員が参加できるような体制整備が必要である。</p> <p>学校概要、学科・カリキュラム概要等をホームページで公表している。今後は、授業計画書（シラバス）の公表を検討している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムのセキュリティ対策として統合脅威管理（UTM）装置を設置し、外部攻撃や内部漏えいなどの様々な脅威から学内ネットワークを守っている。</li> <li>・ネット環境の発展に伴い個人情報の管理については規程を定め、教職員はもちろんのこと学生に対しても常に注意喚起するようにしている。</li> </ul>

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	専門学校の教育に関わる各種法令及び設置基準を遵守し、適切な運営を行う。	関係法令を遵守し、適正な学校運営を行っている。	特になし	学則 認可届出書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門学校の教育に関わる各種法令及び設置基準を遵守し、適切な運営を行っている。	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護については規程を定め学校全体として取り組む。	情報漏えいが起きないよう書類の管理、パソコン上でのセキュリティ管理に万全を期している。	学校内の個人情報が保護されているか、常に点検する必要がある。	個人情報保護規程 情報セキュリティ対策

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護については規程を定め学校全体として取り組んでいる。情報漏えいが起きないよう書類の管理、パソコン上でのセキュリティ管理に万全を期している。学校内の個人情報が保護されているか、常に点検する必要がある。	システムのセキュリティ対策として統合脅威管理（UTM）装置を設置し、外部攻撃や内部漏えいなどの様々な脅威から学内ネットワークを守っている。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------



## 9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己評価の実施体制を整備し評価することで、学校として組織的・継続的な改善を図る。	自己評価について、学則および学校評価実施規程に定め、自己点検・評価を実施した。	一部の教職員により行っている。より多くの教職員が関わる体制の整備が必要である。	学則第4条 学校評価実施規程 自己評価報告書
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己評価結果をホームページで公表する。	自己評価結果をホームページで公表している。	特になし	学校ホームページ
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価の実施体制を整備し評価することで、学校として組織的・継続的な改善を図る。	学校関係者評価について、学校評価実施規程を定め、学校関係者評価を実施した。	特になし	学校評価実施規程 学校関係者評価報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果をホームページで公表する。	学校関係者評価結果をホームページで公表している。	特になし	学校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>私立専門学校等評価研究機構の評価基準に従って、自己評価・学校関係者評価を実施し、ホームページにて公表している。</p> <p>自己評価に関しては、一部の教職員による実施に留まっており、今後は多くの教職員が参加できるような体制整備が必要である。</p>	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育情報に関する情報をホームページで公表する。	学校概要、学科・カリキュラム概要等をホームページで公表している。	授業計画書（シラバス）の公表を検討している。	本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校概要、学科・カリキュラム概要等をホームページで公表している。今後は、授業計画書（シラバス）の公表を検討している。	

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校の教育資源を活用した「社会貢献・地域貢献」について、学校を上げて対応していくことは学生にとっても社会性を育む観点からとても重要である。</p> <p>医療と福祉の専門学校であるので、その教育資源である設備や人材を活用するために特に地域との連携を図っていくことが大切である。国際交流については、留学生を通じて機会が増えていくと考えられる。</p> <p>ボランティア活動については、主体的に行動し地域や社会に貢献できる人材となるよう、学生に対して積極的に推奨している。福祉施設や障がい者施設等のボランティア依頼を教員が取りまとめ、学生に紹介するなどして学生と施設等の仲介役をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターと連携し、今年度から介護予防のための体操教室を当校で毎週開催しており、学校周辺の地域住民のみなさんが多数参加してくださっている。また、従前より介護福祉士会・社会福祉士会・臨床工学技士会等が当校の設備を使っの研修会や会議を実施したり教員と交流を深めたりしている。</li> <li>・今年度は 75 件のボランティア依頼があった。そのうち 43 件（述べ 187 名）のボランティアに参加した。</li> </ul>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	-----------------	-------	-------

## 10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	医療と福祉の専門学校である特色を生かして地域社会との連携を意識した活動を行う。	介護予防のための体操教室を定期的に開催している。また、介護福祉士会・社会福祉士会・臨床工学技士会等が当校の設備を使っての研修会や会議を実施したり教員と交流を深めたりしている。	学生と地域の高齢者との交流を深める方策を考える。	
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	留学生を通じて友好協会等と連携することにより交流を深めることが大切である。	ベトナムの保育所と連携し日本式の保育を伝える試みを始めた。	今後留学生が増えていくと考えるので更なる交流の機会を増やしていきたい。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育資源を活用し地域との交流を深め、学園の存在を認知してもらい更に地域の一員として貢献していきたい。国際交流については、行政や友好協会等との連携を深めていくことにより取り組みを増やしていく。	町内会での行事（新年賀会、花見、夏祭り、防犯活動等）に積極的に参加して交流を深め地域社会に貢献していきたい。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宍戸 淳治
--------	------------	-------	-------

## 10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	ボランティア活動は、本校の教育理念である愛と奉仕の精神のもと、主体的に行動し、地域や社会に貢献できる人材を育成する上で、非常に重要である。	福祉施設や障がい者施設等からのボランティアの依頼を教員が取りまとめ、積極的に学生に紹介している。	特になし	ボランティア活動表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
愛と奉仕の精神を身に付け、主体的に行動し地域や社会に貢献できる人材となるよう、学生のボランティア活動を積極的に推奨している。福祉施設や障がい者施設等のボランティア依頼を教員が取りまとめ、学生に紹介するなどして学生と施設等の仲介役をしている。	今年度は 75 件のボランティアの依頼があった。そのうち 43 件（述べ 187 名）のボランティアに参加した。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	宅野 伸
--------	------------	-------	------